かごしま
建設新聞

株式会社鹿児島建設新
発行人　大迫
鹿児島市錦江町3番
電話　099－227－5
FAX　099－225－1
振替口座　02020－5－
ホームページ
http://www.kc-news.c

中央仮設 株式会社
受注専用 FAX 0120・880・689
本社 ☎099・229・5900
鹿児島（永吉・川上・緑ケ丘）・串木野
出水・大口・空港・南薩・金峰・鹿屋
お近くの営業所から迅速にお届けします

来年度から土木工事着手か

谷山処理場水処理施設増設

鹿児島市

鹿児島市水道局は、汚水量の増大に伴い谷山処理場水処理施設の増設を計画、9日の入札で土木工事等の実施設計を委託する。規模は7600㎥×2池の1万5200㎥/日。計画では、18年度から土木工事に着手する予定で、引き続き機械設備工事も進めていく見通しだ。

規模は1万5200㎥/日

谷山処理場は、永田川以南の旧谷山市街地や慈眼寺団地などの汚水を処理するもので、8年度から11年度の第1期計画で7600㎥×2池を建設。16年度から18年度の第2期計画で7600㎥×1池を整備中である。

今回、水処理施設の最初沈殿池（2池、1万5200㎥/日）、反応タンク（同）、最終沈殿池（同）、導水渠増設、送風機1基増設に係る実施設計を委託する。期限は18年3月10日までを見込む。

なお、全体計画では谷山処理場は12池を計画。このうち、認可は9池で取っている。今後も汚水管路の整備状況などを勘案しながら、計画的に

県、トライアル発注製品等を決定

工事用部材等8件など

県は5日付けで、「トライアル発注事業」に係る発注製品16件（備品・消耗品等8件、工事用部材等8件）を決定した。（5面に製品一覧を掲載）

選定にあたっては、4～5月に製品を募集した後、発注選定委員会の審議を経て、5日付けで決定。今後、各発注機関から随時発注される見込み。なお、今回決定を受けた製品の発注は1回限りとしている。

同事業は、県内の中小企業等が開発した製品等について、県の機関が試験的に発注し、販路の開拓や受注機会の拡大を図ることを目的に、17年度から創設されたもの。対象となる製品は、市場性が見込まれるものであることや、優れた特性を有し、環境対応、省エネルギー、省資源など、県の行政目的の実現に有効であると認められること－など。

アスベスト（廃石綿）の収集運搬処分
ベントナイト汚泥、暗渠清掃、ダンパー・バキューム作業など。各種産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）全般取り扱い。
緊急
ご相談ダイヤル 099（275）1230
九州・沖縄許可取得業者 株式会社アンカー
（本社）鹿児島県鹿児島市田上町4008番地2

労災防止に有効なコスモス

行方 インタビュー⑥

危険と隣り合わせにある建設業。それを裏付けるようにこれまで死亡災害は全産業中トップ。しかも昨年は減少傾向だった建設業の死亡災害が鹿児島県内では大幅な増加という最悪な結果となった。そのような中、建設業の労働災害防止、安全衛生対策に有効だとされる建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS＝コスモス）が今注目を集めている。

今回の行方では、コスモスを全国で4番目に取得（評価）し、県内で唯一運用を行っている五洋建設㈱南九州支店の黒木一實支店長にシステムの利点などについて話を聞いた。

五洋建設㈱南九州支店　支店長

黒木　一實氏

——コスモスとはどのようなシステムなのか

建設工事における安全管理手法の一つであって、組織的、体系的に労働安全衛生の水準を継続的に向上させていくための手法がコスモスです。端的に言えば、その会社の事業活動または施工する工事において発生する恐れのある危険または有害要因を予測し、予測したその要因を除去とか低減するための必要な対策を検討します。それを基に実行するシステムだと理解した方がいいでしょうか。

これまでの建設業は計画（P）－実施（D）－評価（C）－改善（A）という一連のサイクルのうち、PとDは行ってきているが、何事もなかった場合結果オーライと考え、CとAについて特に取り組んでこなかったと思う。コスモスではCとAも一緒にやっていき、潜在的な労働災害の危険性を減らそうというものです。評価は建設業労働災害防止協会（建災防）本部の評価サービスセンターにより審査され、評価されます。現在までに全国で15社が交付されています。

——評価への経緯とコスモスの利点とは

平成13年に全社において本格的な取り組みをスタートしました。まず取り組んだことは、このシステムを施工部門が有効的に活用しなければ意味がありませんので、現場職員を含む関係者への教育から始まりました。南九州支店では関秀正安全品質環境部長を中心に関係者への指導を重ね、実施及び運用を図ってきました。4日間にわたる建災防本部による支店、現場を審査した結果、16年3月に交付を受けました。利点としては、PDCAの実施により、全般的に安全衛生水準が向上し労災が確実に減少するほどの成果をあげているほか、社内ネットワークを活用したIT化により全支店での安全管理対策が標準化された点が大きいと思います。

——地方建設業にもコスモスは必要か

建設業者ならよくお分かりと思いますが、死亡災害が起きてからでは遅いということではないでしょうか。コスモスが安全衛生水準の向上を図ることから、導入したからといって災害がゼロになるわけはないのですが、それぞれの会社が従前より実施してきた安全管理を活かしながらシステム的な管理に移行することが可能だと思います。

よく費用対効果ということを聞きますが、われわれも本社からの指導により始めました。本気で労災ゼロに取り組むというトップの姿勢ではないかと思います。われわれは7000項目以上に及ぶ危険源登録台帳を作り、それに沿ってリスク管理を行っていますが、過去の経験からコスモスは身の丈に合ったシステムを作り上げることが大事だと思います。

必要か－という質問には、必要だと思います。労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）を構築した企業には優遇措置を与える－という動きもありましたが、その点からも取り組みは遅くないと思います。ただ、評価を受けることに走りすぎ、システム導入のねらいと目的を見失わないことが大事だと思います。

（4面に横がお紹介）

募集! 2005
かごしま木造住宅コンテスト
鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅
いろいろな工夫を凝らした家、まちなみにマッチした家、健康で快適な家など住まい手と作り手が一体となって出来た自慢の家を県民の皆様から広く募集します。

■応募対象
県内にある木造住宅（併用住宅を含む）で過去5年間（平成12年8月～平成17年7月）に新築・引き渡しされ、大工・工務店の施工した軸組工法による住宅（混構造も可）。また、過去のかごしま木造住宅コンテストに未応募のもの。

■応募資格
施主・設計者・施工者・大工（棟梁）の4名で応募して下さい。（応募者はいずれでも可）

■応募方法
下記へ応募要領をご請求ください。

■応募期間
平成17年9月30日（金）まで ※当日消印

■入　賞
・知事賞：1点（副賞：商品券5万
・会長賞：1点（副賞：商品券3万
・入　選：5点（副賞：商品券1万

（財）鹿児島県住宅・建築総合センター内
鹿児島県木造住宅推進協議会事務局
〒892-0838
鹿児島市新屋敷町16番22
TEL 099-224-45
FAX 099-226-39